

JIGA 平 017 第 022 号
平成 17 年 9 月 15 日

厚生労働省労働基準局安全衛生部
化学物質対策課課長 殿

有限責任中間法人
日本産業ガス協会
会長 於勢好之輔



石綿含有製品の代替化の一層の促進についての報告

拝啓 時下ますますご清祥の事とお喜び申し上げます。

平素は、格別のご指導・ご支援を賜り、有り難く厚くお礼申し上げます。

さて、標題の件につきまして、平成 16 年 12 月 17 日付基安化発第 1217001 号「石綿含有製品の代替化の一層の促進について」貴省の報告要請を受け、当協会の傘下である溶解アセチレン分科会において検討の結果、別紙の通りご報告申し上げますので、ご査収下さるよう宜しくお願い申し上げます。

なお、ご報告が期限より遅れ、貴省にご迷惑をお掛けしたことを、お詫び申し上げますと共に今後とも宜しく、ご指導のほど宜しくお願い致します。

敬具

(別紙)

平成17年9月15日

代替化困難な製品事例について

1. 製品名

固形マス（珪酸カルシウム多孔物質）容器

2. 製品の用途

アセチレンガスは溶断溶接用ガスとして非常に優れたガスですが、化学的には3重結合を持った不安定な物質であり容易に分解爆発を起こす性質があります。このため、多孔質物質（軽石状の物質）を詰めた容器にアセトン等の溶剤を注入し、その溶剤にアセチレンガスを溶解させることによって、アセチレンガスの分解を防止し、安定した状態で容器に充填貯蔵することができ、また、安全に運送、消費することができます。

3. 使用条件及び使用箇所

固形マスの主原料は、消石灰と珪藻土であり一部に白石綿（クリソタイル）を使用しています。これらの原料と大量の水を混合し液状（生コン状）にして容器に充填し、原料を充填した容器はオートクレーブ内で熱処理することにより固形化します。次の乾燥工程で固形化した充填物を容器ごと乾燥するため石綿が容器外部に漏れ出すことはありません。

4. 代替化困難な理由

現在、無石綿の固形化マス開発を急ピッチで進めておりますが、無石綿製品では現状では性能が劣る（硬くて脆い等）ため石綿含有マスと同等の安全性を確保できるまでには至っておりません。また、固形マスは高圧ガス保安法に定める安全性試験に合格して初めて製造販売が可能になります。

5. 代替化の時期について

無石綿製品の開発期限は、現在業界として厚生労働省に対して平成20年までに開発したい旨申し入れています。業界としましては、その代替化時期より早く平成18年3月末を目途に完成すべく努力しております。

5. 代替化実現のために必要な要件等について、

固形マスは高圧ガス保安法に定める安全性試験に合格してはじめて代替化が実現します。

以上